

畜舎の火災事故に注意！！

先般、県内において畜産関係施設の火災事故が発生しました。

現時点では原因は特定されておりませんが、空気が乾燥し火災が発生しやすくなっていることから、火災事故から家畜、畜舎を守るため、今一度点検等を行いましょう。

1. 電気設備と配線は漏電と過熱の点検を。

(1) 絶縁の損傷やホコリの付着により漏電が起き、火災や感電の原因になります。

- 電気設備、配線が雨や結露などにより傷んでいませんか。
- 扉に挟まれたり、ネズミにかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリはたまっていますか。
(日常的に畜舎全体の整理整頓、清掃を行いましょう。)
- 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょう。

(2) 電気の使用容量をオーバーしたり、コンセント・スイッチの接触が悪くなると過熱による発火の原因となります。

- タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- プラグはコンセントにしっかり差し込まれ、老朽化していませんか。
- 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。



2. 暖房器具等の使用時は取り扱いに注意。

- 暖房器具等の周囲に乾草、エサ袋、木材等の燃えやすいものを置かない。
- 石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。

3. 畜舎火災の発生を想定した準備を。

- 消火器具を整備・充実しておきましょう。
- 消火訓練に取り組みましょう。
- 家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょう。



東濃家畜保健衛生所 TEL 0573-26-1111 FAX 0573-25-7669
平日の時間外（午前8時30分～午後5時15分以外）及び休日に連絡の必要な場合は、
警備室 **0573-26-1114** に電話し、「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」と伝えると、
警備員が家畜保健衛生所職員におつなぎします。